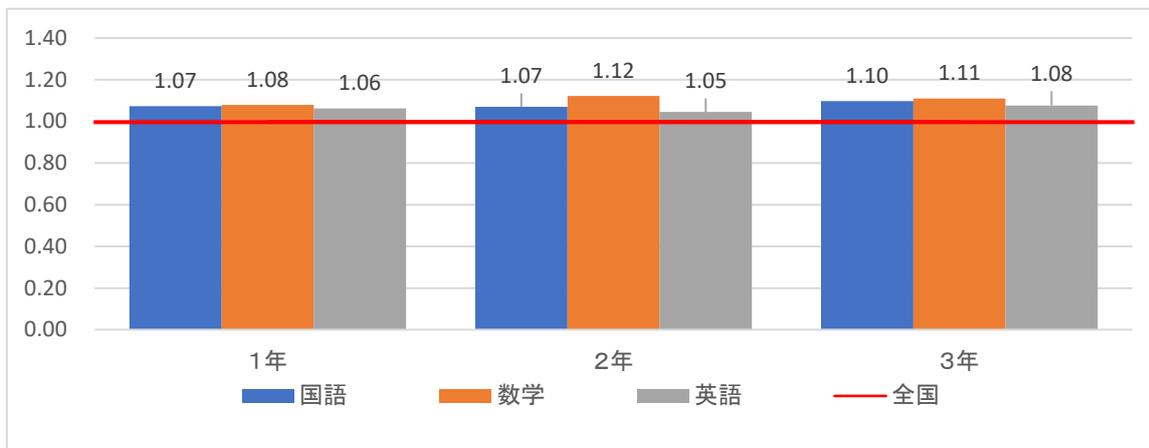


令和6年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について

第六中学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※中学1・2年生は寝屋川市学習到達度調査

中学3年生は全国学力・学習状況調査（英語のみ寝屋川市学習到達度調査の結果）

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習到達度調査	国語	1・2年生ともに、すべての領域において全国平均を上回った。引き続き、自分の意見や考えを根拠に基づいて伝える学習活動に教科横断的に取り組んでいく。
	数学	1・2年生ともに、ほぼすべての領域において全国平均を上回った。引き続き、少人数授業によるきめ細かな指導を強化していく。
	英語	全学年で、ほぼすべての領域において全国平均を上回った。今後は、話した内容を英語で書く活動につなげる指導の充実を図っていく。
全国学力・学習状況調査	国語	すべての領域において全国平均を上回る結果であった。今後も、読み手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫する指導を行っていく。
	数学	すべての領域において全国平均を上回る結果であった。今後も、「図形」に係る知識及び技能を活用しながら思考力・判断力・表現力を育む指導を行っていく。
	質問紙	「授業の内容はよく分かりますか」の質問において、肯定的回答が国語・数学ともに全国平均を上回った。引き続き、校内研究授業や教員同士による授業参観など、授業力向上のための取組を講じていく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

全国学力・学習状況調査、市到達度調査の結果を踏まえ、課題の共有と対応策の構築を図る。また、寝屋川スタンダードに基づき、ディベート教育や家庭学習ノートなど、中学校区での統一した取組を行い、小中学校の学習体制の段差を解消するシステムづくりに努めている。小中連携会議においては各教科の課題や対策を共有し、校区の子どもの実態把握に努めている。

【 学 校 】

授業力向上に関する研修や研究授業、教職員同士による授業参観を頻繁に行い、教職員の指導スキルアップを図っている。また、1・2年生を対象とした数学・英語の少人数授業の展開や、放課後学習等により、各教科における基礎的な知識理解の向上を図っている。さらに、ディベート学習、各教科での話し合いや発表を行う学習場面を充実させ、「考える力」を育成している。